

報道関係各位

東京建物株式会社  
東京急行電鉄株式会社  
オリックス不動産株式会社  
日本土地建物販売株式会社  
伊藤忠都市開発株式会社

首都圏最大規模\*の敷地に、商業施設、託児所等の利便施設を整備する  
大規模分譲マンション

「(仮称)横浜プリンスホテル跡地開発計画」  
起工式挙行・本体工事着工

自然を活かし、周辺との調和を図りつつ、利便性や安全性向上を目指したまちづくりを推進

東京建物株式会社、東京急行電鉄株式会社、オリックス不動産株式会社、日本土地建物販売株式会社、伊藤忠都市開発株式会社は、横浜市磯子区で現在造成工事中である「(仮称)横浜プリンスホテル跡地開発計画」について、建物本体工事の着手に伴い、本日、起工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

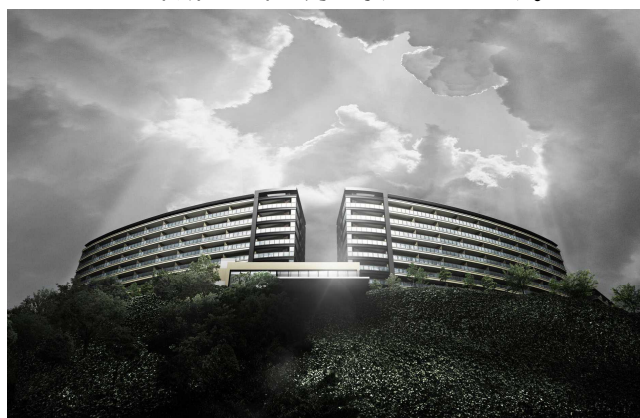
本計画では、分譲マンションとしては首都圏最大規模\*の敷地に総戸数1,230戸の共同住宅を建設し、平成25年6月下旬に Ⅰ区、平成26年2月中旬に Ⅱ区がそれぞれ竣工、入居開始を予定しています。

(\*平成20年1月～23年7月末までに首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)で供給された新築マンションを対象。(有)MRC調べ)

本計画地はJR京浜東北線・根岸線「磯子」駅徒歩4分の利便性を持ちながら、横浜港を望み、みなとみらい地区・横浜ベイブリッジを一望できる約11haの広大な丘上に位置する稀少な立地です。また、かつて別荘地であった時代を偲ばせる風光明媚な緑地と、横浜プリンスホテルの開業以来「プリンス坂」と呼ばれた桜の並木道など恵まれた自然環境を有しているほか、敷地内には横浜市認定歴史的建造物である「旧東伏見邦英伯爵別邸」(通称「貴賓館」)があります。

このような恵まれた立地にあって、本計画はそのコンセプトを『紡ぐ』とし、「誉れ高き緑と伝統を紡ぎ、豊かな暮らしを織りなしてミレニアムスタンダードとなる」邸宅を目指しています。住宅部分は地上3階～10階建の全13棟(A棟～M棟)で構成し、多様なライフスタイルに応じた豊富な住戸パリエーションを提案しています。そのほか、スーパーマーケット等を誘致予定の商業施設、託児所、丘の上下を結ぶエレベーターの整備を行うなど、居住者や地域の利便性向上も図っています。

なお、モデルルームのオープンは平成24年1月を予定しています。



「横浜プリンスホテル跡地プロジェクト(仮称)」Ⅰ・Ⅱ棟外観完成予想図

## < (仮称) 横浜プリンスホテル跡地開発計画 > の主な特徴 >

### 1. 横浜プリンスホテル跡地・約11haの敷地規模を活かした開発計画

- ・周辺との調和を図り、敷地内の既存緑地や桜などの樹木を活かした開発計画
- ・横浜市の歴史的建造物「旧東伏見邦英伯爵別邸（通称貴賓館）」をリニューアル保存
- ・スーパーマーケット等の店舗を誘致予定の商業施設、託児所、提供公園を整備
- ・駅からの高低差解消のためのエレベーター等を設置
- ・様々なライフスタイルに対応する住戸バリエーション
- ・年間32万kWhの発電量\*を誇る太陽光発電システム（\*年間発電量は推定）

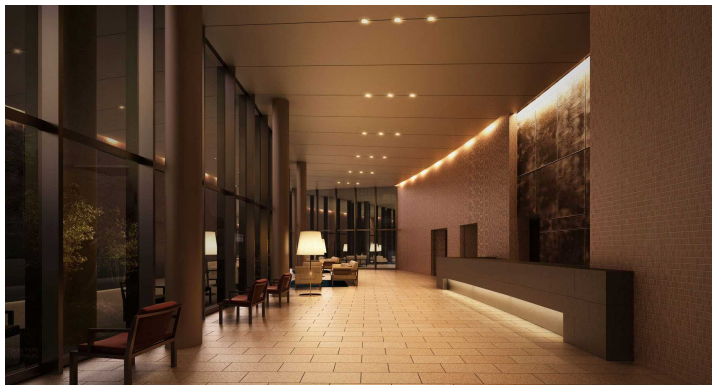


リニューアルし、保存される貴賓館

### 2. 緑の丘のランドマークとなる建物デザインと配棟ゾーニング

自然と共生するデザイン

- ・丘の上の新たなランドマークとなる、象徴的な建物デザイン
  - ・海との一体感を感じ、歴史性と先進性が調和するダイナミックなシンボル空間
  - ・低層棟は豊かな自然に囲まれたヒューマンスケールの街並み、中高層棟は存在感と軽やかさを両立したデザイン
- 敷地内の公園と桜並木の形成
- ・2つの提供公園を整備し、桜並木やしだれ桜を保存・再生
  - ・広大な中庭の確保
  - ・地下駐車場の上部を緑化した広大な中庭空間はヒューマンスケールを意識したクラシカルなデザイン
  - ・店舗・商業施設
  - ・横浜市街地のデザインコードを取り込み、全体との調和を図りつつ特徴的な表情を創出



グランドコンシェルジュ(総合エントランスホール)

### 3. 地域の利便性、安全性向上やコミュニティ形成に寄与する様々な計画

- ・スーパーマーケット等の店舗を誘致する商業施設棟や託児所は、周辺地域の方も利用しやすいよう敷地中央北側に配置
- ・住民と地域のコミュニティの場となる公園や住民の憩いの場となるオープンスペースは、災害時には緊急避難スペースとして活用
- ・駅からの高低差解消のためのエレベーターは、周辺地域の方も利用可能\*（\*有料）
- ・駐車場を地下に整備し、敷地内の豊富な緑地を維持管理するなど、良好なみどりの景観形成に寄与
- ・防災備蓄倉庫を設置するなど、安全・安心に配慮

### 4. 高台の閑静な環境と、主要都心部へのスムーズなアクセスを兼ね備えた立地

- ・周辺は磯子台や汐見台などの歴史のある閑静な住宅地
- ・敷地内の一部は優れた住環境を維持するための風致地区\*

\*都市の中で緑豊かな生活環境が形成されることをめざして、まちの中の快適な住空間をつくる地域として、都市計画法に基づき横浜市により指定された地区

- ・徒歩4分\*1のJR京浜東北線・根岸線「磯子」駅から「横浜」駅まで約14分、「東京」駅まで約39分\*2（\*1:グランドゲートまで、\*2:平成23年10月現在）

< 「(仮称)横浜プリンスホテル跡地開発計画」全体概要 >

事業主：東京建物株式会社、東京急行電鉄株式会社、オリックス不動産株式会社、  
日本土地建物販売株式会社、伊藤忠都市開発株式会社

所在地：神奈川県横浜市磯子区磯子3丁目1134番18他(地番)

交通：JR京浜東北線・根岸線「磯子」駅徒歩4分(敷地入口/ランドゲートまで)

総開発面積: 約117,480㎡

敷地面積：101,906.84㎡

構造規模：鉄筋コンクリート造地上3～10階・地下1～2階、住宅棟13棟、商業棟1棟

総戸数：1,230戸

専有面積：56.19㎡～145.58㎡予定

間取り：2LDK～4LDK予定

駐車場：987台予定(カーシェアリング用、店舗用を含む)

販売価格：未定

販売時期：平成24年1月下旬 予定

入居予定：工区/平成25年6月下旬、工区/平成26年2月中旬

設計・施工：大成建設株式会社、株式会社長谷工コーポレーション

管理会社：株式会社東京建物アメニティサポート

販売代理：東京建物不動産販売株式会社

問合せ先：0120-458-005

(「横浜プリンスホテル跡地プロジェクト(仮称)販売準備室)

ホームページ：[www.yokohama-peak.jp](http://www.yokohama-peak.jp)

< 開発区域及び周辺概念図 >





<位置図>



本日この資料は、以下の記者クラブにお届けしています。

国土交通記者会 国土交通省建設専門紙記者会 横浜経済記者クラブ 横浜市政記者クラブ  
神奈川県政記者クラブ

本件リリースに関するお問い合わせ

東京建物株式会社 広報IR室 山口・高橋

TEL 03-3274-1984